

杭州 2022 アジアパラ競技大会選手コメント【10月26日】

◆男子 100m(T36 クラス) 予選

松本武尊選手(AC・KITA)

「結構良い感じで走れました。明日は、スパイクを変えて自己ベストを目指してみたい。疲れも無いので金を狙いたい」

◆女子 800m(T20 クラス)決勝

川口梨央選手(NPO かがやきプロジェクト)

「最初は足が重たかったり、緊張した。5本目に酒井選手が5m30以上跳んだので、こちらでも頑張らないといけないと思ったらスイッチが入った。自己ベストも出せたし、最近跳べなかった5mも跳べたので良かったです。選手村でもリラックスして過ごせたと楽しかった大会でした。来年の神戸世界パラに出れるようにもう少し記録を上げていけるように頑張りたい」

酒井園実選手(ISF ネット)

「今回、プレッシャーもあり、自分がアジア記録を持っているので追われる立場でしたが金メダルを取れて良かった。来年の神戸、パリパラに向けてメンタルを鍛えてもっと上をいけるように頑張ります。前半の跳躍は足はあっていましたがうまく跳べなかったので、5本目の跳躍の時にここがかっこいいぞと自分に言って逆転できました。来年、パリパラに絶対出場して家族にメダルをかけてあげたい」

◆女子 100m(T34 クラス)決勝

北浦春香選手(インテージ)

「自分の力で勝ち取ったメダルなのでうれしいし代表に選ばれたのも久々だったのでうれしいです。中国の選手は実力がある、そして日本選手の中で勝ちたい気持ちがあったので2着を取りにいくつもりでした。100mに絞ってここに来ているので、後半の加速なども取り組んできたのでそれが結びついて良かったかなと思う。長く応援して下さった方々に感謝の思いでいっぱいです。」

小野寺萌恵選手(北海道・東北パラ陸上競技協会)

「今大会は、自分のレースとしては良い経験になったと思います。ただやっぱり悔しい思いもあるので、これからまた練習して頑張っていきたい。」

吉田彩乃選手(関東パラ陸上競技協会)

「スタートがこわばってしまった。目標は 19 秒台後半でしたがそれが叶わず悔しいです。800mはまさかの失敗をしてしまったが、すごく良い経験となりました。今後の自分の糧になるかなと思う。少しでもタイムを伸ばすことを頑張っていきたい」

◆男子円盤投げ(F37 クラス)決勝

新保大和選手(アシックス)

「調子があまり上がっていない中でベストに近い記録を出せたので良かったです。4 回目の投てきでしっかり記録を残せたことが良かったと思う。ミスが多いので 4 本目以外は反省しないとイケない。社会人 1 年目の中で競技をしているが、今シーズンはしっかり自己ベストも残せて良かったと思う」

◆男子 800m (T54 クラス)決勝

岸澤宏樹選手(日立ソリューションズ)

「今日は着順争いのレースでスローペースだったけれど、位置取り含めてまだまだ足りない部分だった。スタートで中国の選手が前にでるだろうなと予想はしていて、ペースが上がるか落ちるかはその時の対応で、タイムを仕掛ける時にしっかり対応していこうとしていた。この大会で自分の力不足は再認識できた。来年世界パラがあるのでしっかり冬を越して力をつけていきたい」

◆男子 100m (T45/46/47 クラス)決勝

石田駆選手(トヨタ自動車)

「(昨日の) 予選の走りの方が良かった。着差の 2 位でしたし金メダルを狙っていたので少し悔しい。予選もそうだったが、決勝も後半のブレが大きかったことがミスだったかな。目指すはパリパラで、ここでメダルを取って表彰台に乗ることが目標なので冬の練習が重要だなと思っている。」

三本木優也選手(京都教育大学)

「メダルを狙っていたので素直に悔しいです。今シーズンラストでもあり学生陸上集大成

としてこのアジアパラに臨んだけれども、なかなか自分の力が出せなかったことが悔しい。来シーズンはしっかり記録と順位を狙っていきたいです」

◆男子 100m (T64 クラス) 決勝

大島健吾選手(名古屋学院大学AC)

「200mは負けてしまったので 100mはしっかりやるしかないなと気持ちを切り替えて臨んだ。自分の走りに集中して走った。自分のベストは出せたので良かったと思う。試合に向けてのコンディションはうまく作れていると思うが、義足がまだしっくりきていない。今後は 10 秒台で走ることを目指したい。まずはパリパラの決勝で勝負できる様な力をつけていきたい。(井谷選手は) なかなかパラの中でお互いに高めあっていける存在はいないと思う。ちょっと気を抜いただけで負けてしまうのでしっかり差をつけていきたいなと思う」

井谷俊介選手(SMBC日興証券)

「大島選手と勝ち負けしていることが楽しい。今回、アジア記録を抜かされたのでまた、来シーズン 2 人で色々やって記録の塗り替えをできれば良いと思う。レースは、スタートが失敗してしまった。今回、後半を意識して取り組んでいたなのでそこは良かったが。100m、200mで勝ちも負けも味わえたので良かったかな、次につながる大会になった」

◆女子 100m (T64 クラス) 決勝

高桑早生選手(NTT東日本)

「アジアパラゲームは私にとってとても思い出が強い大会なので金メダルを取れてうれしいです。シニアの大会で初めて海外遠征した大会が、広州のアジアパラで世界の舞台を経験した大会でもあるので思い出が強いことをあらためて実感しました。(レースは) 落ち着いてレースは出来ました、タイムは今一つなので、戻ってからもう一度レースを振り返ってみたい。13 秒台の前半から更に上は、自分にとって一段階高いところにあると思うので、そこにいくために今、細かいところから修正していて、それをしっかりモノにしていきたい。」